

図書館のおしごと紹介

ブックトーク 第11回

図書館では、「小学生のためのブックトーク よむよむ探検隊」というイベントを毎年開催しています。これは、1つのテーマに基づいて、小学生におすすめしたい本を6~7冊程度紹介していくというものです。

図書館に所蔵しているたくさんの児童書（時には一般書も）の中から、小学生の皆さんにぜひ読んでいただきたい選りすぐりの本を紹介しつづけます。また、読書が好きなのはもちろん、何を読めばいいのかかわからない、ちょっと読書は苦手だな、という子どもたちにも関心を持っていただけるよう、いろいろなジャンルの本を工夫して紹介します。

今年も皆さんのお気に入りの1冊が見つかるよう企画していきたいと思っておりますので、ぜひご参加ください。開催日程はHPや広報ふちゅうなどでお知らせいたします。

平成26年度開催日程（予定）
7月19日（土）10月18日（土）
11月15日（土）12月20日（土）



中央図書館の行事予定

- 7月
 - 19日（土）よむよむ探検隊
 - 26日（土）しかけカードの作り方
 - 27日（日）図書館員体験ツアー
 - 30日（水）図書館探検隊
- 8月
 - 2日（土）怪談朗読会・レファレンス講座
 - 7日（木）夏のおたのしみおはなし会
 - 20日（水）図書館探検隊
 - 24日（日）図書館員体験ツアー
 - 26日（火）科学あそび
- 9月
 - 20日（土）わらべ長者ゲーム〈仮〉
 - 21日（日）ガイドツアー

●催しは予約制です

OPAC検索案内のお知らせ

館内の検索機（OPAC）の操作方法のご案内です。触ったことのない方も大丈夫！マンツーマンで実施します。検索機は資料探しに欠かせません。入力のコツなど、質問内容に合わせて15分程度のご案内をいたします。毎週水曜と最終週の日曜、午後2時~3時半の間に3階の総合カウンターへお申し出ください。

蔵書点検のお知らせ

▽蔵書点検のため下記の日程で休館します。

図書館名	日程
7月 四谷	7日（月）~ 9日（水）
9月 西府 是政 宮町	1日（月）~ 3日（水）

図書館講演会 「身近な動物たちについて調べる」

草食動物と肉食動物の違いは？脈拍と心拍って違うの？動物の子育てって、みんな同じ？ウサギやモルモット、ニワトリやハト。知っているようで知らない身近な動物たちの生活を、みんなで実験しながら調べます。

▽日時 10月5日（日）午後2時から4時まで
▽講師 鈴木馨（すずき かおる）先生（東京農工大学フィールドサイエンスセンター 准教授）
▽場所 ルミエール府中 1階会議室
▽対象 小学生とその保護者 20組
▽申込み 9月1日（月）から（予定）

掲示版

今年もぜひ！ 地区図書館の雑誌リサイクル

保存年限を過ぎた雑誌を、市民のみなさまにご提供します。

▽日時 7月6日（日）午後1時から4時
※7日（月）から20日（日）は、初日の残りの資料を各館内でご提供し、なくなり次第終了します。

▽会場 各地区図書館にお問い合わせください。
▽持ち帰り冊数 おひとり12冊まで。
手さげ袋をご用意ください。

※初日混雑時は、先着順に時間を区切って入替制とします。

レファレンス講座 「月食ってなに？月のふしぎ ~10月8日の皆既月食を楽しむ直前ガイド~」

今年10月8日の夜、皆既月食がおこります。「月はなぜ満ち欠けがあるのか」や「日食と月食の違い」など、月にまつわる様々なおはなしを、国立天文台の宇津巻竜也（うづまき たつや）先生がわかりやすく教えてください。

今回の皆既月食についてみんなで楽しく学びましょう。保護者の方もぜひご参加ください。

▽日時 8月2日（土）午後2時から4時
▽場所 ルミエール府中1階 第1・2会議室
▽対象 小学生以上（高学年向け）先着40名
▽申込み 7月2日（水）から受付開始
午前9時から午後7時に中央図書館へ 電話もしくは来館（5階）

科学あそび 「化石・ふしぎな石~アンモナイトのレプリカをつくらう・木の葉化石も探そう~」

本物の化石を見たり、さわってみましょう。岩石と化石のちがいにしても実験をしながらまとめます。最後にアンモナイトのレプリカをつくります。

▽日時 8月26日（火）午後2時から4時まで
▽講師 坂口美佳子先生（科学読み物研究会会員）
▽場所 ルミエール府中1階第1・2会議室
▽対象 小学生 40名
▽申込み 7月21日（祝）から受付開始
午前9時から午後7時に中央図書館へ 電話もしくは来館（5階）
▽その他 参加費125円（材料費：当日）

お問い合わせ
府中市立中央図書館
〒183-0055 府中市府中町2-24
TEL 042-362-8647
ホームページアドレス
<http://library.city.fuchu.tokyo.jp>

府中市 図書館 だより 第30号

平成26年6月30日 発行 府中市立図書館

府中市は 4月1日に 市制施行60周年を迎えました

ともに未来へ 笑顔あふれる わがまち府中

今年度、市制施行60周年を迎えた府中市ですが、理念やテーマなどに「協働」ということばがよく出てきます。

『広辞苑』第6版 岩波書店（R813コ）で調べると、「協力して働くこと」とあります。『日本国語大辞典』第2版 小学館（R813ニ4）では「同じ目的のために、二人以上が協力して働くこと」、『現代用語の基礎知識2014』自由国民社（R813ゲ）では、「公共サービスの提供につき、行政と市民、NPO、企業などが対等のパートナーとして協力すること」とあります。辞書によって、かなり異なるものです。

さて、図書館で「協働」というと、児童サービスやハンディキャップサービスでの、市民ボランティアとの協働があげられます。

児童サービスでは、中央・地区で定期的の実施していますおはなし会等、ハンディキャップサービスでは、対面朗読や録音図書の作成、布の絵本作成、宅配等を、各々登録されている市民の皆様が、積極的に職員と協力し、事業を進めていただいています。

おはなし会も回数を増やすことができ、おはなしや絵本を楽しむ子どもも増えました。また、ボランティアの方が、独自のグループを作り活動をされています。おはなしの輪が、確実に広がっています。

読書を楽しんでいただく機会としての対面朗読も、また、デイジー図書など録音図書の作成により、自宅でも楽しめるタイトルも増えました。市民と読書を妨げる要因を少しでも取り外すことができたいでしょうか。

そして、中央図書館は、平成19年12月1日に新館開館以来、PFI事業として、民間企業との「協働」を行っています。貸出や返却業務、書架の整理、講座などの実施等、携わっています。

先に、「協働」のことばの意味をあげましたが、市民との協働、企業との協働、いずれも市民の皆様が「生涯にわたる自主的な学習機会を得て、市民生活を営む上で必要な知的・文化的な情報を十分に受け」られるという目的に向け、市とともにサービス向上を図ってまいりたいと存じます。

図書館長 坪井 茂美



府中の昔の地名をたどる～地名由来碑から

旧府中町 ②

江戸時代の府中市域には、一宿一社領十二か村が存在していました。一宿とは甲州街道の宿駅の一つ府中宿のことで、一社領とは六所宮(現大國魂神社)です。これらの村落は、明治22年4月に町村制が施行されるまでは、それぞれ独立した村落として存続しますが、府中四か町(本町・番場宿・新宿・八幡宿)は、明治13年1月に、府中駅と称し、同時に屋敷分村と合併しました。

町村制施行後は、全国で71,314あった町村が15,820に減少し、府中市域では明治26年6月に府中駅を府中町と改称しました。そして東部地区の八か村が合併した多摩村、西部

地域の三か村が合併した西府村、府中町で、新しい行政組織として出発することになり、かつての町村名は、大字となりました。



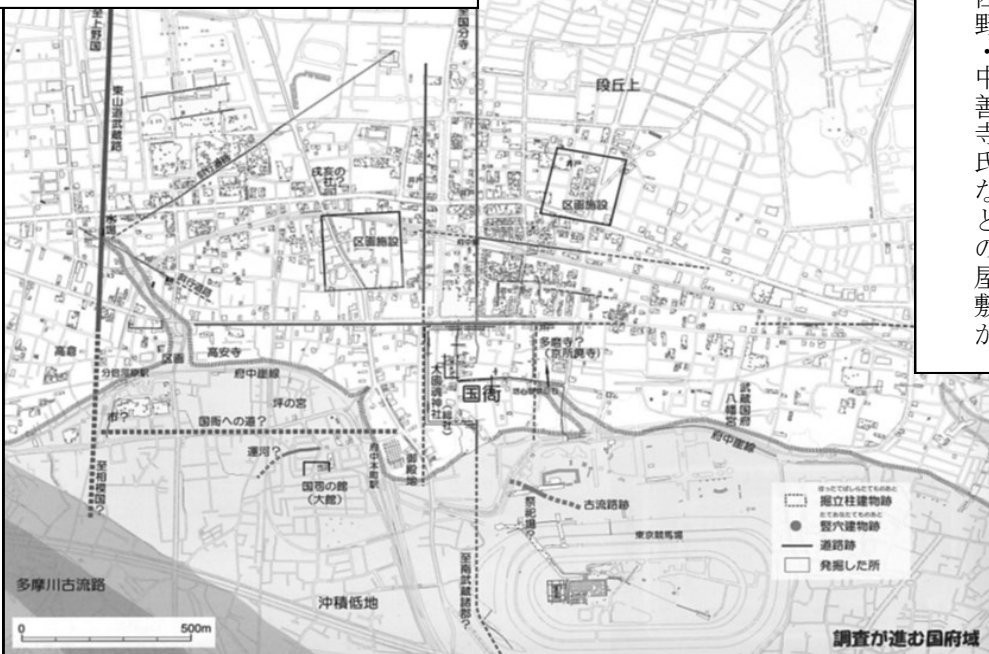
上:『ふるさとの地名』より 芝間稲荷神社
下:『国史跡武蔵国府跡』府中市文化スポーツ部文化振興課文化財係/編

芝間 (しばま) 芝間は、現在の南町一・五・六丁目(芝間通り沿い)に集落の中心があった村落です。この集落は本町に属しており、『新編武蔵風土記稿』には「本町」の小名としてその名が見えます。芝間はもともと北側にある三千人塚(石仏塚、矢崎町二丁目)辺りの古い鎌倉街道沿いにありましたが、多摩川の流路の変遷に伴い南の地に移動したといわれています。地名の起りは不明ですが、字義からみて、「芝地の場所」、すなわち「芝場(しばば)」が転訛したのかもしれない。芝間稲荷の前にある二基の庚申塔は、芝間ではミサルさまと呼び、イボを落し、あせものよりやおできを取ってくれるといわれていました。

京所 (きょうじょ) 京所は現在の宮町二丁目(京所道沿い)に集落の中心があった村落です。この集落は六所宮(大國魂神社)の社領で八幡宿に属しており、『新編武蔵風土記稿』には「六所社領」の小名としてその名が見えます。地名の起りは経所(きょうじょ)が転訛したものとされており、ここに国府の写経所のような施設があった名残りだと伝えられています。京所のように「京」のつく地名は、国府の所在地には多くあります。武蔵国(むさしのくに)の国府は、『和名類聚抄』(わみょうるいじゆしやう)(第五卷)に「多磨郡に在り」との記載がありましたが、所在地は特定されていませんでした。しかし、昭和五十年以降の調査により、いくつもの説の中でもっとも有力視されていた、京所に存在していたことが判明しています。

屋敷分 (やしきぶん) 屋敷分は、現在の美好町三丁目(旧甲州街道沿い)に集落の中心があった村落です。幕末の地誌には「民戸六十戸、往環(甲州街道)の左右に並居る」(『新編武蔵風土記稿』)とありましたが、これは旧甲州街道の開設(慶安頃11648(52))に伴い移動したもので、もとはかなり南側の方にあつたといわれています。地名の起りについては判明していませんが、『武蔵名勝図会』(巻三ノ下)に「或説に云う、古へは六所神社の社司以下住せし地なり。其後、神領の内へ移り、或は六所の社辺へ移され、此所は上地となりし屋敷跡なる由を伝うれども」とあり、国府時代の国衙の在庁官人で、その後六所宮の社家(神官)となつた鹿島田・佐野・中善寺氏などの屋敷があつたことによるようです。

【参考図書】
『いしぶみ草紙』府中市
『ふるさとの地名』府中市
『府中市の町名地番』府中市
『府中の風土誌』府中市
『新編武蔵風土記稿』多摩郡 府中ノ部
『武蔵名勝図会』巻三ノ下
『武蔵府中の民俗』北野晃
『武蔵府中物語』猿渡 盛厚



夏のおたのしみ おはなし会

中央図書館では、3歳～小学生を対象として読み聞かせを行っています。夏のおはなし会では、絵本や昔話、手遊びなど、いろいろな催しをします。手作りのプログラムの配布もします。当日、ぜひ会場にいらしてください。(申込み不要、先着40名)

日時/8月7日(木) 午後3時半～4時半
会場/中央図書館 おはなしのへや
対象/3歳～小学生

夏の読書キャンペーン 「本の木だいすき！」

本のかたちのカードに好きな本のことを自由を書いて掲示します。参加者にはぬりえのプレゼントがあります。あわせて、夏休みのおすすめ本の展示・リストを配布します。

期間/7月19日(土)～8月31日(日)
場所/中央図書館 3階児童室

小学生のためのブックトーク よむよむ探検隊

中央図書館では、1つのテーマを立てて、何冊かの本を紹介するブックトークを開催します。ぜひ、当日ご来館ください。(「図書館のおしごと紹介」欄もご覧ください)

日時/7月19日(土) 午後2時～2時45分
会場/中央図書館 おはなしのへや
対象/小学4・5・6年生
定員/先着30名
内容/「ドキドキ!冒険」

おはなし会の日程7月～9月

「おはなしの森」では絵本や昔話の読み聞かせを、「ちいさい子のおはなし会」では赤ちゃん絵本の読み聞かせやわらべうたを行っています。

- 「ちいさい子のおはなし会」**
- 中央図書館
日時/7～9月の第2・4木曜日 午前10時半～11時
対象/1・2歳児と保護者
☆おはなし会の後に絵本のプチ講座も行います。
 - 地区図書館
日時/地区館「おはなしの森」と同日の 午前10時半～11時
四谷図書館のみ7月2日、8月6日、9月3日(水)

- 「おはなしの森」**
- 中央図書館
日時/
①7～9月の毎週木曜日 午後3時半～4時
②7月5日、8月2日、9月6日(土) 午前11時～11時半
対象/3歳～小学生(保護者同伴可)
 - 地区図書館
日程/
宮町図書館—7月2日、8月6日、9月10日(水)
四谷図書館—7月3日、8月7日、9月4日(木)
白糸台・西府・新町・片町図書館 —7月9日、8月13日、9月10日(水)
武蔵台・是政図書館 —7月16日、8月20日、9月17日(水)
住吉・紅葉丘 —7月23日、8月27日、9月24日(水)
生涯学習センター図書館 —7月23日、8月27日(水) 9月6日(土)(生涯学習フェスティバル)

時間と対象/
午後3時半～4時/3歳～小学生(保護者同伴可)
(新町のみ午後2時半～3時)